

佳作

初めてのスケッチ大会

鹿児島県 鹿児島市立中洲小学校五年 井上 陽太

一学期、小学生になって、初めてのスケッチ大会がありました。スケッチをする場所は、ぼくたちの住んでいる地域の、きれいな水が流れている甲突川周辺です。当日は天気も良くワクワクしながら向かいました。

まず、スケッチする場所を決め、構図を考えます。先生が言った「遠近感を出すこと」に気を付けながら、一番手前の橋からおくのビルなどをかきました。構図をかく時、特に階段がむずかしかったです。おおくがあるので細かくかきました。そして、下書き終了。自分では、遠近感を出すことができて構図としてはいいと思いました。

次は、色ぬりです。色ぬりは、学校で行いました。ぼくは、下書きよりも色をぬる方が苦手です。こんなうまくいった構図が、とてもだめな絵になってし

まうのではと、きんちょうしてきました。先生は、「いろんな色を使うこと」、「手前は色をこく、おくは色をうすくすること」、「ペンキぬりをしないこと」の三つを言っていました。ぼくは、この三つに気を付けながら色ぬりを始めました。時間は、たくさんあったので、じっくりとていねいにペンキぬりをしないで橋をぬっていききました。手前は、こくぬりました。川は、おくから手前に流れているので、ぼくは、うすい川からだんだんとこい川になるようにしました。砂は、ペンキぬりをしないように気を付けました。石がきは、一つ一つていねいにぬっていききました。そして、先生が言っていた「いろんな色を使うこと」に気を付けているんな色を付け加えました。実際にぼくのとりの席の子がいろんな色を使ってたので、参考にしてぬっていききました。

さらに、先生からのアドバイスで「立って色をぬればいい」と言われたので、少しはなれて立ってみると、遠くから見た方が、きれいに見えてかきやすかったです。また、

「ときには決まった色でなくても良いのだよ。」と先生に言われました。ぼくもこのアドバイスを試してみようと思い、ビルをぬっていききました。する

と、少し風景が変わったように思えました。空は、自分なりに工夫をしました。上は、こゆい青、真ん中は、少しこゆい青、下は、うすい青と三つに分けてぬってみました。すると、きれいなグラデーションができました。

「キーンコーンカーンコーン」とチャイムの音が鳴りました。ついに色ぬりの時間が終わりました。一つだけ残りだったことは、橋にいろんな色を使っていなかったことです。でも、構図を考えることから色ぬりまで、たくさんの時間をかけて完成させたことに、とても満足しました。確実に四年生より色ぬりが上達しているのは、良かったです。来年こそは、もっとうまく色ぬりができるようにしたいです。